

みんなのめあて
おもいやり
のある子
かんがえる子
たくましい子

戸田小学校

学校だより

3校連携会

「こどものめあて」

- 1 正しいきれいな言葉
- 2 進んであいさつ
- 3 学習をたいせつに

児童数
402名
12/1現在

ともだちを **だいじ**にする 戸田っ子

1月号 平成22年12月2日

厚木市立戸田小学校
厚木市戸田545番地
046-228-9805

戸田っ子まつりを終えて

- 子ども達のアイデアとパワーに感謝! -

竹村志保美



児童会のスローガン「秋祭り みんなで楽しく見せめぐり」のもと、戸田っ子まつりが12月1日に実施されました。11月29日の児童朝会で、各クラスの催し物の紹介を聞き、心がワクワク、戸田っ子まつりを楽しみにしていました。学校中の教室が縁日のように、お祭り一色に変わっていました。

子ども達が工夫した催し物には、センダングサを使ったゲーム。早口言葉バトル、人間モグラたたき、ドングリごま、ドングリばさみ、割りばし鉄砲を使った射的、マジック・クリップを使った魚釣り、箱当てゲーム（中身はぞうきん・粘土など）、アイロビーズ……。（全て書けなくて申し訳ありません。）

お友だちが楽しんでいただくために案を考え、ゲームや作品をつくり、楽しんでもらえるように工夫する。そして、実際に携わる。また自分でも遊ぶ。

他の人の気持ちを考え行動する。大切な学習になると思います。環境のことも考えなければなりませんし、安全も考えなければなりません。ここまで準備するのに多くの工夫を凝らし、友だちと協力して悩みながら努力したと思います。子ども達のアイデアとパワーに感謝しながら、楽しませていただきました。



戸田っ子祭りで気づいたことは、多くの保護者（お母さん、お父さん、おじいさん、おばあさん）がゲームを楽しんでいることや幼稚園児が数多く来ていることや本校の子ども達が心から楽しんでいることでした。また、教室の廊下には子ども達の力作が沢山あり、普段の学習の成果も見ることができました。

きっとご家庭で戸田っ子祭りのことが話題になったことと思います。子ども達に寄り添い、がんばったことや良いことを認め励ますことによって、子どもは前向きになって取り組むようになるので、今後ともご指導をよろしくお願いします。



あなたのお子さんは

いかがですか?

今年度（今の学年）も残すところ、登校する日にちが65日となりました。（2学期は後15日）お子さんに、学年に相応した行動が身についているか点検をしてみましょう。不十分な場合はそれなりの対応をしていかなければ、後悔先に立たずですから、担任に連絡をお願いします。

あいさつ
早寝・早起
家庭での学習習慣
ノートの使用の仕方
各種便りの持ち帰り（学校・学年・学級等）
交友関係
帰宅時間（愛のチャイム：4:30）

朝ごはん
防犯ベルの所持
学習の準備（前日に）
ことば使い

特に、朝ごはん、防犯ベルの所持、学習の準備（前日に）、ことば使いが不十分な場合、学力定着はあり得ません。また、交友関係は、友達からの評判の善し悪しが決まってくる材料です。

挨拶は心を開く大事なきっかけ

「挨拶」というのは人間関係の第一歩、相手を認めて歓迎することです。まず、朝には「おはようございます。」と挨拶をします。これは、相手を認め、コミュニケーションのきっかけとなります。それに対応する返事は、相手に対する敬意なのです。挨拶と返事は一対であり、一方通行ではありません。

人間関係づくりの基本は、相手の立場に立つことです。その姿勢が人間関係をスムーズにするコツであると言えます。そのきっかけを開くのが挨拶です。その為には、どちらが先と言うことではなく、気持ちよい空気が一瞬でもそこに出来ればいいのです。

相手の立場に立つことが出来る人とは「気配り」「心配り」が出来た人です。両方とも「り」を除けば「気配」「心配」となります。「気配」とは、離れた所に人がいた時、「その人がこの場に来られる」という事を察し行動することです。これが「気配り」です。また、その人の行動を気にして「心配」する。これが「心配り」です。

気配りと心配り。自分に余裕がないと、疎かにしまいがちですが、人間関係の潤滑油として欠かせないものであることを忘れず、いつも心がけたいですね。

戸田小学校版「家庭学習のすすめ」配付済み

- 「子どもの家庭学習」を推進しております。
 - 1年生 :20分以上 (できたら30分~40分)
 - 2年生 :20分以上 (できたら30分~40分)
 - 3年生 :30分以上 (できたら40分~50分)
 - 4年生 :40分以上 (できたら50分~60分)
 - 5年生 :50分以上 (できたら60分~70分)
 - 6年生 :60分以上 (できたら70分~80分)
- 宿題以外に取り組みさせてください。

12月の行事予定 詳しくは学年だより参照

「愛のチャイム」= 4:30

水・木・金 = 朝読書 (読書は やさしい心の栄養) です)
月・水 = 心の相談員 (小原 警夫先生)
水 = ロング昼休み

- 1日 (水) 戸田っ子まつり (給食)
 - 2日 (木) 朝会
 - 3日 (金) 委員会活動 給食費集金
 - 6日 (月) 児童朝会 (福祉委員会)
6日~10日 体力作り週間
 - 7日 (火) クラブ活動
 - 13日 (月) 1年エンジョイタイム
 - 14日 (火) 5年出前ダンス教室
 - 16日 (木) 人権教室 (保護者参観可能)
 - 22日 (水) 給食終了日 (5校時まで)
 - 24日 (木) 2学期終業式 (4校時まで)
 - 25日 (土) 冬季休業~
- 校庭開放 12/29-1/3 9:00~16:00南門解錠

1月の主な予定 等

- 11日 始業式
- 13日 給食開始
- 27日 児童会役員選挙
- 28日 5年収穫祭

人を大事にする言葉

最近、大人社会で人間同士がうまくつきあっていく力が低下しているようです。このことは、子どもの世界でも例外ではありません。

自分の気の合う人とは上手くやっていけるが、そうでない多くの子とはうまくつきあえない事が増えているようです。また、様々な原因でストレスが、かなりたまっている子も増えてきています。

子どもの乱暴な言葉遣いにも気になります。放っておくと大きなトラブルの原因になることもしばしばあります。

かつては、けんかなどをした時にだけに用いられた「乱暴な言葉」も、今は、当たり前のように使われるようになってきました。その分、優しい言葉や人を元気にする言葉が、教室から失われつつあるように思います。

普段から「優しい言葉の持つ素晴らしさ」や「人を傷つける言葉の危険性」を低学年の子どもから、身につけさせたいと考えます。

先日、道徳の学習の中で「人に言ってもらいたい言葉」を書いている時の気持ちを発表してもらいました。「嬉しい」「力が湧く」「楽しくなる」「元気になる」「優しいなれた」「ちきうき」「ふわふわした気持ち」・・・等が出されました。

人を大事にする言葉

いいねえ なるほど ねえ~
さすがだね すごいねえ
ありがとう だいじょうぶ
良かったねえ たすかったねえ
いっしょに(帰ろう 遊ぼう~しよう)
笑顔で話してくれること.....等

表情 ことばづかい
話し方 行動・しぐさ
アクシデント発生時の行動や態度・・・等

私たちの「性格・人格の診断」テスト として使われています。少しのことで悪い勘違いをされないように気をつけたいものですね。

ご家庭ではいかがですか。「人の話し方・笑い方」の身につけ方は、物まねです。子どもの周りに、どの様な「話し方・笑い方」をする大人がいるかにかかっています。人間にだけ与えてくれた、「話す口」「笑える顔」大事にしていきたいですね。

おさそい 「人権(福祉)教室」

16日 (木) 時間 = 10:45~11:25
場所 = 体育館
講師 = 伊勢原日向在住 秋山里奈 さん
・視覚障害を持つ大学院生
・パラリンピックメダルで獲得
子どもだけではなく、私たち大人にとっても大切な人権(福祉)の勉強です。是非、参観してください。